

# 首長竜復元! リニューアル

ちょっぴり

## 大作戦

◆サイトオープン◆

2021  
1/8 Fri. ~

◆科学館閉館期間◆

2021  
1/12 Tue. ~ 3/21 Sun.

恐竜時代の海を泳いでいた、首長竜。

生命の海科学館のホールにつり下がる全身骨格化石が、20年ぶりに、より真実に近い姿に生まれ変わります。

監修は、フタバズキリュウの研究で有名な、日本の首長竜研究第一人者の佐藤たまき先生。

科学館ホームページで「ちょっぴりリニューアル大作戦」の全貌を公開しています。ぜひご覧ください!

東京学芸大学 准教授の  
佐藤たまき先生が  
監修します!

◆首長竜の全身骨格化石(レプリカ)◆

プレシオサウルス亜目エラスモサウルス科タラソメドン

*Tharassomedon haningtoni*

首長竜の中でも最も首が長いことで知られるエラスモサウルスのなかま。  
全長10mを超える巨体と、60個以上の骨がつながる長い首が特徴。

SNSで随時経過報告します!



詳細 Web ページ

首長竜リニューアル大作戦

恐竜時代の海を泳いでいた爬虫類のなかま、首長竜。

骨の構造から、残念ながら陸上には上がれなかったと考えられています。首の骨の関節の構造から、首をあまり上にはそらせることができなかったことも分かってきました。現在は、あの長い首で、魚やイカだけでなく海底にすむ貝なども食べていたのではないかと、という説が有力になってきています。

また、首長竜や近縁な化石種で胎児を含む母親の化石が見つかったことなどから、爬虫類ながら卵ではなく子どもを産んでいたと考えられるようになりました。

生命の海科学館では、1月中旬から始まる天井補修工事のため、首長竜の全身骨格化石(レプリカ)を天井から外して解体します。そしてこの機をとらえ、首長竜研究第一人者の佐藤たまき先生の監修のもと、最新の学説に沿った姿に修復します。

その過程を、インターネットを通じて、動画やSNSで発信してまいります。

生命の海科学館の首長竜の全身骨格の姿がどう変わっていくか、皆さまどうか楽しみに!

地球46億年、あなたにつながるストーリー



蒲郡市生命の海科学館

◀◀◀ がまごおりしいのちのうみかがくかん

〒443-0034 愛知県蒲郡市港町17番17号

http://www.city.gamagori.lg.jp/site/kagakukan/

お問い合わせ TEL: 0533-66-1717

◆監修◆ 東京学芸大学 准教授 佐藤たまき さん



東京大学理学部地学科、アメリカ合衆国シンシナティ大学地質学教室修士課程、カナダ国カルガリー大学地質学地球物理学教室博士課程を修了、博士号(Ph. D.)取得。王立ティレル古生物学博物館(カナダ)、北海道大学、カナダ自然博物館、国立科学博物館における博士研究員を経て、2007年より東京学芸大学に勤務。専門は首長竜などの中生代の海生爬虫類の記載と分類・系統学。2016年に猿橋賞を受賞。著書に「フタバズキリュウ もうひとつの物語」(ブクマン社)など。